

平成30年5月11日



各 位

会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社
代表者 取締役社長 酒井 信也
(コード番号 8291 東証第一部)
問合せ先 取締役経理部長 米澤 領一
(TEL. 03 - 5496 - 5203)

連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成29年5月11日に公表いたしました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

1. 平成30年3月期 通期連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(金額単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------|-------|--------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 150,000 | 5,100 | 4,600 | 3,300 | 円 銭 49 81 |
| 今回実績値 (B) | 152,023 | 4,616 | 4,061 | 2,187 | 円 銭 33 00 |
| 増 減 額 (B-A) | +2,023 | △483 | △538 | △1,112 | |
| 増 減 率 (%) | +1.3% | △9.5% | △11.7% | △33.7% | |
| (ご参考) 前 期 実 績 (平成29年3月期) | 149,525 | 5,029 | 4,475 | 3,990 | 円 銭 60 22 |

2. 差異の理由

当期は、日産自動車グループの完成検査工程における不備の影響を受けましたが、新車販売台数は電動化技術のe-POWERを搭載した新型ノート、知能化技術のプロパイロットを搭載した新型セレナ、新型エクストレイルが好調に推移したことに加え、前年の第1四半期に販売停止しておりました軽自動車（OEM車）の販売再開もあり、販売台数は前年を上回り、売上高は増収となりました。

一方、利益につきましては、完成検査不備の影響を補うための受注促進策としての広告宣伝の強化や試乗車の増車ならびに低金利クレジットの展開等を実施したことによる販売費及び一般管理費の増加や周辺利益の減少の影響がありました。また、中古車販売では新車納車遅延に伴う下取車の入庫遅延が発生し、商品不足と販売までの時間経過により売上利益が減少いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、繰延税金資産の取崩しなどもあり、予想値を33.7%下回る結果となりました。

詳細は、本日公表しております「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上